

令和7年度 学校経営方針

北九州市立引野中学校

校長 峯 隆幸

1 校 訓 自主自律 文武両道

2 学校教育目標

思いやりのところをもち、新たな価値創造に挑む、自立した生徒の育成

3 めざす生徒像

- 人の意見をよく聴き、失敗を恐れず自分で判断し、志と人間力を高める生徒
- 人それぞれの違いや多様性を認め、決して差別やいじめをしない生徒
- 基礎的な学力を身につけ、自分の可能性を信じて、将来の進路実現を目指す生徒
- 感謝の心を言葉や態度で表現し、仲間と協調しながら集団生活がでる生徒
- 体力の向上と健康生活の実践に励み、命の大切さを実感できる生徒

4 めざす学校像

- 毎日が楽しく、全ての生徒にとって、居心地の良い学校
- 秩序や規律があり、安全で清潔に整備された、落ち着いた学校
- 誰一人取り残さない学びと、先端的な学びで、生徒の可能性を引き出す学校
- 教職員一人一人が、組織の一員として、専門性を発揮できる働きやすい学校
- 保護者や地域社会と共に、生徒を育てていく、開かれた学校

5 めざす教師像

- 教育のプロとして、常に研鑽に励み、授業で勝負できる教師
- 率先垂範を旨とし、常に自ら行動し、生徒のモデルとなる教師
- 組織の一員として、自らの強みとWLBを意識しながら、同僚をサポートできる教師
- 法令を遵守し、教育公務員としての自覚を持ち、綱紀粛正に努める教師
- 生徒一人一人を大切に、保護者・地域と積極的に関わる、信頼される教師

6 本年度の取組の重点

「令和の時代における新しい日本型教育」の実践が言われようになって久しい。学校には引き続き「予測できない未来、正解のない時代」に生きる力を身に付けた生徒の育成が求められている。

本校は2学期(前・後)制導入の2年目として、前年度の反省をふまえながら、更にゆとりと計画性を持って”新たな価値創造”に果敢にチャレンジし続けたいと考える。そのために、以下の重点について積極的に取り組む。

- (1) 学習指導要領をふまえた、確かな学力・体力の向上とキャリア教育
- (2) 教育のICT化へ対応した、指導方法の工夫・改善と特別支援教育
- (3) 心の育ちの教育
- (4) 教師と生徒の信頼関係、生徒相互の好ましい人間関係づくりを基盤とした生徒指導
- (5) 保護者・地域・小学校との連携にもとづく信頼される開かれた学校づくり
- (6) 生徒が主体的に行動する力を育む健康・安全教育
- (7) 生徒が主体的に活動する生徒会活動と、健全な心身を育む部活動の充実